

平成 28 年 4 月 25 日
(更新版)

弊社ランプバスの成田空港におけるバニラ・エア到着便(国際線)の 国内線到着ゲートへの降ろし間違いについて

平成 28 年 4 月 17 日(日)、成田空港強風のため中部国際空港へダイバートしたバニラ・エア株式会社 JW104 便(台北発)が中部国際空港から戻ってきた際に、当該便お客様を国際線到着ゲートに輸送すべきところ、誤って国内線到着ゲートに輸送し、お客様が入国してしまうという事案を発生させてしまいました。

このような間違いは、あってはならないことであり、お客様、関係ご当局様、成田国際空港株式会社様、航空会社様に多大なご迷惑とご負担をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

このような遺憾な事案が再発しないよう、すでに確認の徹底を行っておりますが、更なる強化策として策定した具体的な再発防止策を、今後確実に実施してまいります。

具体的には、(1) 当社の誤認の要因となった電話連絡による航空会社様からのバスオーダーについては、当初のオーダーを変更する場合も含めて、国際線・国内線を明確にした FAX のやり取りにより確認すること、(2) そのうえで、当社が作成するバス配車票の記載事項について、今後、航空会社様がバス到着口に配置される担当者と当社乗務員との間で相互に確認を行ったうえで輸送を実施することといたします。

このたびの事案の重大性に鑑みて、代表取締役社長増井健人について、25%(1ヶ月)の減俸処分を行うなど、厳正に対処します。

重ねて深くお詫び申し上げますとともに航空会社様との連携を深め、二度とこのような事案を起こさないよう再発防止策の徹底を図ります。

東京空港交通株式会社
代表取締役社長 増井健人